

比較眼科学会会員各位

紅葉の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第42回比較眼科学会年次大会を2023年8月26日から27日に開催するとともに、主要なプログラムの見逃し配信も10月9日をもって終了し、全てのプログラムが終了いたしました。学会期間中におきましては、参加者の皆様に、格別のご指導とご支援を賜りましたことに感謝申し上げます。

お陰様を持ちまして、会員186名、非会員20名、愛玩動物看護師・アニマルケアスタッフ5名、学生4名、そして、共同開催では無いにもかかわらず韓国から13名、合計228名にご参加頂き、大盛況の内に会を開催することができました。

また、協賛協力企業15社、（うち展示企業10社）にご支援いただきましたこと、御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

特別講演、教育講演、20演題にのぼる一般口演、基礎および臨床部会のセッション、ランチョンセミナーがあり、年次大会を成功裏に終わることが出来ました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

コロナ禍後の初で感染対策を考慮しつつ、4年ぶりの対面式の開催のため、年次大会の運営にあたりまして配慮が至らない点多々あったかと存じますが、次年度以降の年次大会の試金石とさせていただくことで、何卒、ご寛大な対応を下さいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、本年次大会にご参加いただきました皆様、講師の皆様、開催に際してご力賜りました企業様各位、そして学会企画、準備、運営に携わっていただきました実行委員の皆様、ならびに比較眼科学会会員皆様のご健康と、益々のご活躍を祈念致します。

2023年10月吉日

第42回比較眼科学会年次大会 大会長

余戸 拓也